

Lettres de Debussy

ドビュッシーからの手紙

～作曲家ドビュッシー没後100年の時をこえて～

クロード・ドビュッシーの初期から最晩年の作品(ピアノ、歌曲、室内楽)を、
彼が友人や娘、親しい人らに宛てた手紙のフランス語朗読と共に紹介。

作曲家自身から紡ぎだされた「音楽」と「言葉」によって、

ドビュッシーの音楽的本質を探る。

2018年
10月26日(金)
19:00開演(18:30開場)

音楽の友ホール
(東京メトロ東西線「神楽坂」駅徒歩1分)

全自由席 5,000円

若きドビュッシーの感性

2つのアラベスクより第1番(ピアノ)

星の輝く夜(独唱)

ヴァニエ歌曲集より「音楽」「アリエルのロマンス」(独唱)

夢想(ヴァイオリン)

小組曲(ピアノ連弾)

円熟、そして晩年へ

前奏曲第1集より「亜麻色の髪の乙女」(ピアノ)

ステファヌ・マラルメの3つの詩

「ため息」「ささやかな願い」「扇」(独唱)

映像第2集

「葉陰をもれる鐘の音」「そして月は廃寺に落ちる」「金色の魚」(ピアノ)

前奏曲第2集より「花火」(ピアノ)

ヴァイオリンとピアノのためのソナタ(ヴァイオリン・ピアノ)



朗読: 黒空 葵アオ
(NHKラジオ「まいにちフランス語」出演)

主催: 表参道音楽事務所 ☎ 03-4560-1919 ✉ debussy@omotesando-music.co.jp

後援: 在日フランス大使館 / アンステイチュ・フランセ日本

チケット購入: Confetti(カンフェティ) ☎ <http://confetti-web.com>

☎ 0120-240-540(通話料無料・受付時間 平日10:00~18:00)



日仏交流160周年
160^e Anniversaire
des relations
franco-japonaises



さくらぎ えりこ
櫻木 枝里子
ピアノ/プロデュース

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部演奏学科(ピアノ専攻)卒業後、1995～97年渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院にて高等ディプロム取得(満場一致首席)。

96年7月にパリ郊外のシャン＝シュル＝マルヌ城 Château de Champs-sur-Marneで行ったリサイタルではラ・マルヌ紙の文化面に「日出づる国からやって来たエリコ(Venue du pays du Soleil Levant,Eriko)」と紹介され話題となり、その後も同城のコンサートシリーズに出演を重ねる(計3回出演)。同年、仏・ナンシーの音楽祭でレステレブリアン紙に「著名なピアノリストのベスティエ氏が認めた才能」「聴衆を震撼させた」と評される。

帰国後は99年ソリサイタル、2001年には国立パリ管弦楽団チェロ奏者オレリアン・サブレ氏らとの室内楽コンサートを東京、大阪にて開催。近年は、ラモー、クーランなどのバロックから、ドビュッシーやラヴェル、メシアンなど20世紀作品まで、特にフランス音楽に力を入れている。日仏会館ホールで隔年開催されている日仏会館・日仏音楽協会主催「フランス音楽の夕べ」にも、10年、12年と続けて出演している。14年12月には紀尾井ホールにてラヴェル「左手のための協奏曲」を演奏し、好評を博した。

これまでに、ピアノを塩澤とし子、金澤希伊子、多美智子、ジュルメヌス・ムニエ、ルステム・サイクロフの各氏に、室内楽を藤井一興、清水高師の各氏に師事。仏・ナンシーの講習会にて、ピアノを海老彰子、ジャン＝クロード・ベスティエの各氏に師事。

98年より母校の慶應義塾女子高等学校芸術科講師。



はら ひろみ
原 博美
ピアノ

桐朋学園大学音楽学部演奏学科(ピアノ専攻)、同アンサンブルディプロマ修了。

子供のための音楽コンクール金賞、中日賞受賞。全日本学生音楽コンクール連続入賞。第7回日本室内楽コンクール第1位、第23回フレンチ国際音楽コンクール「プレミオ、ヴィットリオ、グイ(イタリアにて開催)」第1位、第4回かやぶき音楽堂デュオコンクール4手連弾部門第1位。名古屋管弦楽団、名古屋青少年交響楽団、スロヴァキアフィルハーモニックオーステン等、国内外のオーケストラと多数共演。オランダミュージックセッション、京都フランスアカデミーに参加。

またウィーンフィルハーモニーオーケストラのチェロ奏者のスコッチチ氏や、ベルリンフィルハーモニーオーケストラ現首席ヴァイオリン奏者の清水直子とリサイタルで共演するなど、数々のソリスト達と室内楽を中心に演奏活動中。

ピアノを高須喜久代、森博子、佐野翠、松岡貞子の各氏、室内楽を平吉毅子、練木繁夫、ゴールドベルグ山根美代子、藤井一興、ロフマン、ジョルジュ・ブリエル、マルティン・シュルツ、クリスチャン・イヴァルディの各氏に師事。



ふくだ みきこ
福田 美樹子
コロラトゥーラソプラノ

国立音楽大学卒業。バルセロナリセウ高等音楽院をCarmen Bustamante氏に師事し、最優秀の成績にて修了。ポルドー地方音楽院、パリ市立音楽院などにて、Mady Mesplé氏に師事。氏に「声の色調が美しい」と評される。

オペラ「フォンテンスブローのディアンヌ」のナンブ役、フェミナ劇場にて「ポルドーの仲間たち」、「カルミナ・ブラーナ」ソプラノリスト、国立バジールジクオーケストラの定期公演リサイタル(リカゴフ指揮)、コンセル・C主催「ドビュッシーの夕べ」などに出演。

リサイタルは、2009、13、16年「フランスへの誘いシリーズ」、18年スペイン×日本夢のかけ橋を開催。オールフランスコロラトゥーラレポートによるソラアルバム「歌う思い出」が16年オクタヴィアレコードよりリリース、同年9月のタワーレコード渋谷店月間売り上げ第2位。同年サントリーホール小などにて発売記念リサイタルを開催、好評を博す。二期会、コンセルC、日本フォーレ協会、東京室内歌劇場各会員。ミキコエコール代表。

福田美樹子ファンクラブ
<https://www.facebook.com/MikikoFukuda.coloratura>
公式ホームページ
<http://www.mikikofukuda.com/>



はせがわ あや
長谷川 彩
ヴァイオリン

東京生まれ。桐朋学園大学音楽学部(ヴァイオリン専攻)卒業。石井志都子、曾根マリの各氏に師事。ボストン大学大学院修士課程に全額支給の奨学生として渡米。D・オストラフの高弟D・マズルケヴィッチ、L・リン各氏に師事。

1997年札幌PMFにてコンサートマスター(C・エッセンバハ指揮)、99年小澤征爾音楽監督のタンゲルウッド音楽祭では、ピアニストA・プレヴィン氏と室内楽を共演、ヘンリー・コーン記念賞を受賞。またヒンガム交響楽団のコンサートマスターを務める。

2001年渡仏後、アトリエ・ミュージック・トゥーレース及びカンマー・ミュージック・ド・パリなどのグループに参加。また09年よりペドリッシュ弦楽四重奏団の第2ヴァイオリン奏者として活動を開始。15年リリースのCD「セレナード・アンテルンビュ／ペドリッシュ弦楽四重奏団」は好評を得、ラジオ・フランスの生放送に出演した。07年にはルクセンブルク日本大使館主催「音楽の旅——日本～ヨーロッパ」に招待され、林光の「ラプソディ」を紹介。15年には第7回ノルマンディー国際ホルン・フェスティバルに招待され、A・カザレ、K・タナー、F・ロイドのヨーロッパ三大ホルン奏者と室内楽コンサートを行った。

02年よりラムルー交響楽団に、03年よりトゥール交響楽団にも在籍している。またパリ管弦楽団及びパリ国立歌劇場管弦楽団の公演に定期的に出演している。



クロー ヴィアット
Chloé Viatte
朗読

パリ生まれ。4歳よりバレエをはじめ、中学在学中よりアーティスト向けの特別教育プログラムに参加。パリのサル・ブレイエル劇場に属するJBPバレエ団のソリストとして活動する。

高校卒業後、自らダンスカンパニーを設立、ピエール・カルダンの助成金を取得し、パリ・シャンゼリゼ劇場に招聘され、活動した。また舞台女優としても、フランスの古典演劇をフランス・ドイツ・スイスで、オーストラリアでは英語上演を行った。

パリ第一大学、ルーアン大学大学院卒業後、1999年来日。新潟大学講師としてフランス語・フランス文化・パフォーマンスの授業を行うと同時に、新潟市のPR映像のフランス語吹き替え、ナレーションやCM(現美新幹線など)の音声女優として活動。また新潟市のラ・フォル・ジュルネ「熱狂の日」音楽祭において、人形芝居及び音説イベントを開催した。

2009年より日本伝統芸能人形浄瑠璃「猿八座」に遣い手として参加。日本をはじめロシア、イギリス、ウクライナ、フランス、ポーランドで公演を行っている。

2012年に、NHK「テレビでフランス語」、また16年と18年、NHKラジオ「まいにちフランス語」に出演している。

現在、順天堂大学国際教養学部専任講師、慶應義塾大学講師。



音楽の友ホール

〒162-7816 東京都新宿区神楽坂6-30 03-3235-2115

- ・東京メトロ東西線「神楽坂」駅1番出口から徒歩約1分。
- ・都営地下鉄大江戸線「牛込神楽坂」駅A3出口から徒歩約7分。
- ・東京メトロ東西線「飯田橋」駅B3出口から徒歩約11分。
- ・JR「飯田橋」駅から徒歩約12分。